

事業者排出量削減計画書（新規・変更）

(あて先) 京都府知事		18年		
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）		氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名。記名押印又は署名）		
大阪市西区新町1丁目1番17号		カセムテックス株式会社代表取締役社長 関子恭一 電話 06 - 6535 -		
京都府地球温暖化対策条例第18条第1項（第18条第2項、第18条第3項）の規定により提出します。				
特定事業者の主たる業種	発酵工業(1733)・医薬品原薬(1761)・その他の有機工業薬品(1739)			
該当する事業者要件	<input checked="" type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第1号該当事業者（大規模エネルギー使用事業者（原油に換算して1,500キロリットル以上）） <input type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第2号又は第3号該当事業者（大規模運送事業者（トラック又はバス100台以上/タクシー150台以上/鉄道車両150両以上）） <input type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第4号該当事業者（その他の温室効果ガスの大規模排出事業者（二酸化炭素に換算して3,000トン以上））			
計画期間	平成 18 年 4 月 ～ 平成 20 年 3 月			
基本方針	エネルギー消費の削減、廃棄物発生抑制、リサイクルの推進等、環境マネジメントシステム活動の一環としてCO2の削減を目指す。			
推進体制	事業所長を本部長とする環境管理組織の設置と実施計画の策定。			
年度ごとの具体的な取組及び措置	年度	設備、対象、工程等	計画内容	
	18	施設管理部門	ボイラ室内配管保温材設置にともなう放熱の削減(目標数値5%)	
	18~19	工場製造部門	空調設備デマンド制御装置導入による年間稼働率の抑制(目標数値5%)	
	18~19	工場製造部門	省エネ型設備の更新による年間消費電力量の削減(目標数値5%)	
	18	全体	アイドリングストップ運動の実施	
温室効果ガスの排出量等	排出区分	基準年度(実績) (17)年度 (二酸化炭素換算(t))	目標年度(計画) (19)年度 (二酸化炭素換算(t))	削減率 (計画) (%)
	A 事業所等排出区分	5,926 t	5,633 t	-5.0 %
	B 輸送車両排出区分	t	t	%
	C その他排出区分	t	t	%
	排出合計	*1 5,926 t	*2 5,633 t	-5.0 %
その他の地球温暖化対策による温室効果ガスの削減量等	対策等の区分	目標年度(計画) 取組量等 (二酸化炭素換算(t))		
	森林の保全及び整備	(整備面積) ha	(吸収量) t	
	府内産の木材の利用	(利用量) m ³	(削減量) t	
	自然エネルギーを利用した電力又は熱の供給	(発電量) kwh	(削減量) t	
		(熱供給量) GJ	(削減量) t	
	グリーン電力の購入	(購入量) kwh	(削減量) t	
	削減量等合計		*3 t	
差引排出量 (排出合計-削減等合計)	基準年度(実績) *1 5926 t	目標年度(計画) (*2)-(*3) 5633 t	削減率(計画) -5.0 %	
特記事項	当事業所では、2004年度よりエネルギー消費削減活動に取り組み、昨年度末時点で2004年度を基準とし原油換算数値220KLの削減を達成。平成18年度省エネ法改正にともない、エネルギー管理の視野を熱などといった分野まで拡大し、19年度事業所全体で5%の削減を目標に取り組む。また、長年培ってきたバイオテクノロジーの技術を生かし、環境ビジネス対応表品の開発に取り組んでいます。			
連絡先	担当部署			
	担当者氏名			
	住所			
	電話番号			
	ファクシミリ番号			

注1 該当する口には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。

注2 「基準年度」とは計画期間の前年度を、「目標年度」とは計画期間の最終年度をいいます。

注3 「事業所等排出区分」とは、京都府内の事業所等の事業活動のためのエネルギーの使用に伴い発生する温室効果ガスを、「輸送車両排出区分」とは、自動車運送事業者については使用の本拠の位置を京都府内とする車両の排出する温室効果ガスを、鉄道事業者については保有する貨物車両又は旅客車両の排出する温室効果ガスを、「その他排出区分」とは、上記以外の京都府内における事業所等の事業活動に伴い発生する温室効果ガスをいいます。